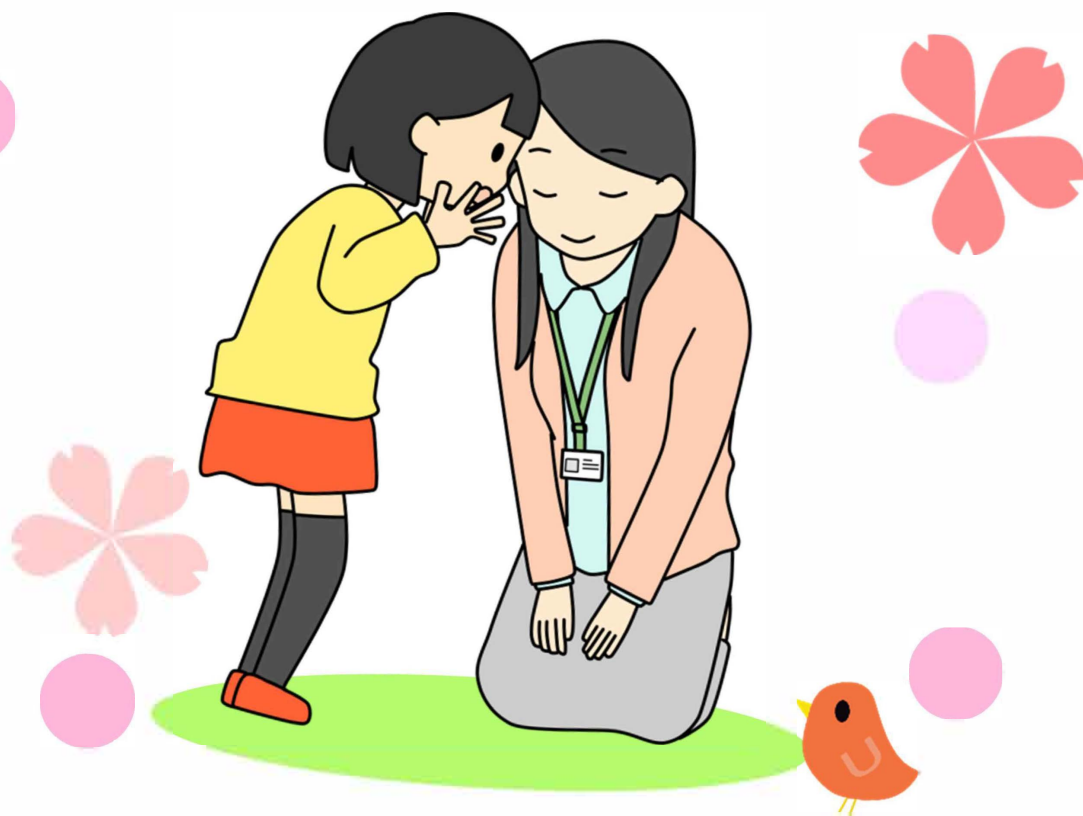


チャイルド・ライフ・

スペシャリストって？





わたしたちは、**こども～AYA 世代の患者さんと家族**をサポートします

わたしたちについて

チャイルド・ライフ・スペシャリストは、1950年代頃から主に北米で発展してきた、病院などの医療環境下にあるこどもや家族を支援する専門職です。こどもの生活の中心である遊びを通して心を癒す「**治癒的遊び**」を提供することで、こどもの不安を和らげ、こども本来の発達を支援すること、どんな環境でも、こどもや家族がその家族らしくいられることを目指し活動をしています。

- ひとりひとりのこどもの「**病院の経験**」が、よりストレスの少なく怖くないものになるようにお手伝いします
- 療養環境下でもその子らしく育ていけるように支援します
- こどもの目線を大切に、その子が元々持っている力や頑張りを応援します

治療を受けるこどもとご家族へのサポート



- その子の発達にあわせて遊べる時間や環境を提供します
- 検査や処置、手術についてこどもなりに理解できるよう心の準備を手伝い、不安や緊張への対処方法を一緒に考えます
- 病気にまつわる気持ちを表すことができるようにサポートします
- きょうだいへの支援もおこなっています
きょうだいの面会は、年齢や状況に応じて医師の診察が必要です

AYA 世代の患者さんにご家族へのサポート

AYA 世代とは「**A**dolescent and **Y**oung **A**dult(思春期や若年成人)」の略で、一般的に 15 歳から 39 歳くらいまでの年齢層の人を指しています。



- 治療中、入院中の気分転換の場を提供します
- がんの治療を受ける同世代の仲間たちと出会う場をサポートします
- がんの治療と学校や仕事などの社会生活との両立を目指せるよう支援します
- 病気や治療に関する困りごとや心配ごと、不安な気持ちに寄り添い、多職種と連携して、解決に向けてのお手伝いをします

大切な人が病気のこどもへのサポート

お父さん、お母さんが病気になったとき、こどもが家族の一員として、親御さんの治療の輪の中にその子なりに参加できるようサポートします。



- 病気や病状についてのこどもへの説明方法を一緒に整理して考えます
こどもの成長発達の専門知識をもつ小児科医と共に行います
- こどもが面会に来たときに、安心してそばにいられるようにサポートします
- こどもと家族の思いを形に残す支援をします

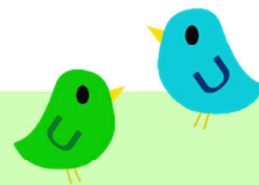
活動のご案内

《活動時間は?》

8:30～17:00 (平日)

《どこにいるの?》

6東病棟(小児・AYA 世代病棟)に常駐していますが、
6東以外の病棟や専門外来にも伺います



院内の支援体制

必要に応じて医師、看護師、ソーシャルワーカー、心理専門職、リハビリ専門職、薬剤師、栄養士などと連携をとりながら、悩みや問題を解決するお手伝いをいたします。サポートを希望される場合は、各部署の医療スタッフまたは下記までお問い合わせください。

<相談窓口>

○よろず相談：医療ソーシャルワーカーによる対面または電話相談

受付時間 8:30～17:00 (平日)

場 所 2階 よろず相談 (20番カウンター)

電 話 055-989-5710 (平日 8:30～17:00)

○患者家族支援センター：看護師による対面または電話相談

受付時間 8:30～17:00 (平日)

場 所 2階 患者家族支援センター (5番カウンター)

電 話 055-989-5559 (平日 8:30～17:00)



静岡県立静岡がんセンター
小児科・6階東病棟 (小児・AYA 世代病棟)
(2018年 11 月作成)